

樹木図鑑で調べる前に！【十勝版】



木の名前がわからない

でも樹木図鑑で調べるのは難しい

どうしたら名前にたどり着くことができるのだろう？



北海道十勝総合振興局

北海道で育つ樹木だけを集めた「樹木図鑑」が書店などで販売されているけど、図鑑だけで樹木の名前を調べるのは難しいですね。

では、どうしたら調べることができるようになるのでしょうか？ 今からそのポイントをご紹介します。

1 なぜ、図鑑で木の名前を調べることができないのか？

- ・木の種類が多い
- ・図鑑に掲載されている種類が多すぎて仲間分けができない
- ・木のどこを見たら良いのか分からない
- ・色や形が写真と微妙に違う
- ・細部が分からない
- ・用語が難しい



2 図鑑で木の名前を調べられるようになるためには？

- 仲間探しができるよう訓練しよう！
 - そのためには、まず木の特徴を知ること
 - 図鑑には、観察するポイントとして形態の特徴が書いてある
 - 観察する順序も重要
 - ④ 図鑑には、その地域には生育していないものもあるので、すべての樹種から調べるのは間違いのもと！
- そこで、まずは身近な地域の樹種に絞って、形態の特徴をまとめた「十勝の主要樹種一覧」を作ってみました！

3 「十勝の主要樹種一覧」の特徴

- 十勝でよく見られる樹種を掲載
 - 針葉樹：6種 広葉樹：37種 計43種
- 十勝で特徴的な樹種も掲載
 - 針葉樹：カラマツ(主要な造林樹種)、ヨーロッパトウヒ(外国樹種の中で最も多い)
 - 広葉樹：ヤエガワカンバ(道東、オホーツクなど)、クロビイタヤ(帯広市の保存樹木など)
- 木の特徴(用途を含む)を整理
- 検索用は、観察項目を観察順に整理
- エクセルで作成(データベースとして検索可能)

■ 十勝の森林と樹木

十勝には、北部から東部にかけては針葉樹林(エゾマツなど)や針広混交林(トドマツ、ウダイカンバなど)が、西部から中部、南部にかけては広葉樹林(ミズナラなど)が広がっています。

また、平地にある広葉樹林には、カシワなどが生育する「乾生林」とヤチダモなどが生育する「湿生林」があり、河岸段丘を境に隣り合っています。

さらに、木材の生産などを目的にカラマツなどの人工林が造成されるなど、十勝には多様な森林が広がっています。

■ このように豊かな十勝の森林には、様々な樹木が生育していますが、この「樹木図鑑で調べるに前に!【十勝版】」は、十勝の森林をはじめて散策された方でも、樹木図鑑を使って木の名前を調べることができるように、観察するポイントを取りまとめたものです。

【参考】樹木図鑑で名前を調べるは難しいとお考えの方！

図鑑には、それぞれの樹木について、葉や冬芽、花、果実、樹形、樹皮などの特徴が細かく書かれていますが、表現の仕方にはルールがあります。

まずは、自分でわかる樹種1種類を選んで、実際の樹木の特徴とルールを確認してみてください。ルールの仕組みが分かるはずです。

※ 基本的なルールは図鑑の「とびら」などにまとめられています。

4 観察ポイントと観察順番（夏の場合）

【その1】

・針葉樹？広葉樹？

針葉樹：針のような葉

広葉樹：平たく幅の広い葉

・枝葉のつき方は？

互生（ごせい）：互い違いにつくこと

一般的に多いつき方

対生（たいせい）：対になったつき方

カツラ、キハダ、カエデ類、モクセイ類など

輪生（りんせい）：風車状のつき方

針葉樹のマツ類の特徴。トドマツ、エゾマツなど

【その2】

・特徴的な葉の形状等は？

掌状（しょうじょう）

手のひらを広げたような葉の形（カエデ類の特徴、ハリギリなど）

束生（そくせい）

枝の節から束になって葉がでる様（カラマツなど）

掌状複葉（しょうじょうふくよう）

手のひらをひろげたように1箇所から小さい葉が出て全体で1枚の葉となっている様（コシアブラなど）

羽状複葉（うじょうふくよう）

小さい葉が羽根のように並び全体で1枚の葉となっている様（オニグルミ、ナナカマド、イヌエンジュ、キハダ、タモ類など）

【その3】

・葉に毛が有る

ドロノキ、バッコヤナギ、オニグルミ、サウシバ、アサダ、ウダイカンバ、ケヤマハンノキ、カシワ、ヤマグワ、アズキナシ、イヌエンジュ、キハダ、オオバボダイジュなど

・枝に毛が有る

オニグルミ、アサダ、カシワ、ハルニレ、ヤマグワ、イタヤカエデ、オオバボダイジュなど

・葉の縁にギザギザがない

キタコブシ、イヌエンジュ、イタヤカエデなど

ポイント

■ 樹木図鑑には、葉や冬芽、球果の形、樹皮の特徴など見分けるポイントが書かれていますが、夏の場合は、枝葉の特徴だけで、ほぼ見分けることができます。では、【その1】から順番にポイントを見てみましょう。

■ 枝のまわりにつく葉のつき方を葉序（ようじょ）と言い、基本的には次の3つに区別できます。



互生

対生

輪生

■ 葉を見分けるポイントとして、葉身や縁の形がありますが、大きく分類するために特徴的な形状をおさえておくことも重要です。



掌状



束生



掌状複葉



羽状複葉

■ 葉や枝にある毛の有無や多寡の違いは、近縁の樹種を判定する上で重要な特徴になります。

【参考】主な葉（葉身）の形

形は次のように分類されていますが、図鑑では複数組み合わせで表記する場合があります。



線形



長楕円形



楕円形



倒卵形



卵形



円形



心形



掌状

5 観察ポイントと観察順番（冬の場合）

【その1】

・常緑樹？落葉樹？

常緑樹：年間緑の葉が見られる樹木

落葉樹：秋に葉を落とす樹木

・冬芽のつき方は？

互生（ごせい）：枝にある側芽が互い違いにつくこと
一般的に多いつき方

対生（たいせい）：枝にある側芽が対になってつくこと
カツラ、キハダ、カエデ類、モクセイ類など

輪生（りんせい）：側芽が風車状につくこと
針葉樹のマツ類の特徴トドマツ、エゾマツなど

【その2】

・特徴的な冬芽の形状等は？

裸芽（らが）

芽を守る覆いがなく葉などの形が見える芽
（オニグルミなど）

芽鱗（がりん）

魚の鱗のような皮や毛で覆われている芽で、最も一般的なタイプ

隠芽（いんが）

葉痕の中に隠れて見えない芽

鱗片（りんぺん）

一般的に針葉樹の芽を覆う小さな鱗状の覆（おおい）

頂生側芽輪生状（ちょうせいそくがりんせいじょう）

ナラ類に多い芽の付き方で、頂芽を側芽が囲むよう（輪生状）に形成されている様

【その3】

・枝に毛がある

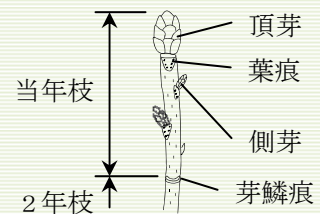
オニグルミ、アサダ、カシワ、ハルニレ、ヤマグワ、イタヤカエデ、オオバボダイジュなど

・冬芽に毛がある

オニグルミ、カシワ、ハルニレ、キタコブシ、イヌエンジュ、オオバボダイジュ、ハクウンボク、アオダモなど

■ 冬の場合、樹木について詳しい方は樹皮や枝ぶりなどから見分けますが、冬芽は樹種ごとに特徴があるので、よく観察することで見分けることができます。

■ 冬芽には、小さな葉や花等が含まれ、芽鱗や毛などで覆ったり、細胞内の水分を調整して凍るのを防いだりすることで、厳しい寒さから保護しています。



裸芽



芽鱗



芽鱗(毛)



頂生側芽輪生

【参考】葉痕（ようこん）

葉痕とは、葉が落ちた痕で、水分や養分が通る維管束の痕が斑点のように残り、動物の顔のように見える樹種もあります。



オニグルミ



キハダ

よく見ると…
オニグルミは
ヒツジ顔だけど
キハダは
「コアラ？」



6 最後に！

- ・ まずは、この「樹木図鑑で調べる前に！」と十勝の主要樹種を取りまとめた「十勝の主要樹種一覧」、そして市販の「樹木図鑑」を持って、十勝の森へ出かけてみましょう。
- ・ 夏の場合、冬の場合ともに【その1】から【その3】の順番に観察することで、およその仲間分けができるようになります。
- ・ さらに、市販の樹木図鑑と見比べながら観察を繰り返すことで、樹木図鑑だけで木の名前を調べることが出来るようになります。
- ・ さあ、「人と、木や森とのつながり」を五感で感じましょう！

北海道生まれの「^{もくいく}木育」！

「木育」は、北海道で生まれた新しい言葉で、平成 16 年に道民の皆さんと道庁と一緒に検討をすすめた「木育推進プロジェクトチーム」の中で「木育の理念」がまとめられました。

木育とは、

子どもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取り組みです。
それは、子どものころから木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。

道では、道民の皆さまに、「人と、木や森とのつながり」を感じていただけるよう、木育マイスターや地域の団体、企業などと連携しながら、様々な取組を進めています。樹木図鑑を使って、樹木の名前や特徴、木材の用途などを知ることも「木育」の取組のひとつです。ぜひ、身近なところから参加してみませんか。

北海道の木育ホームページ ☞ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sky/mokuiku/index.htm>



木製遊具



森林教室



森林観察会



工場見学会

試される大地

北海道

樹木図鑑を調べる前に！【十勝版】

発行 平成 25 年 7 月

作成 北海道十勝総合振興局産業振興部林務課

〒080-8588 帯広市東 3 条南 3 丁目十勝合同庁舎 2 階

TEL 0155-27-8604 FAX 0155-24-1621

HPアドレス：<http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/ss/rnm/index.htm>